

鳥取県西部地震18年

# 地震防災講演会

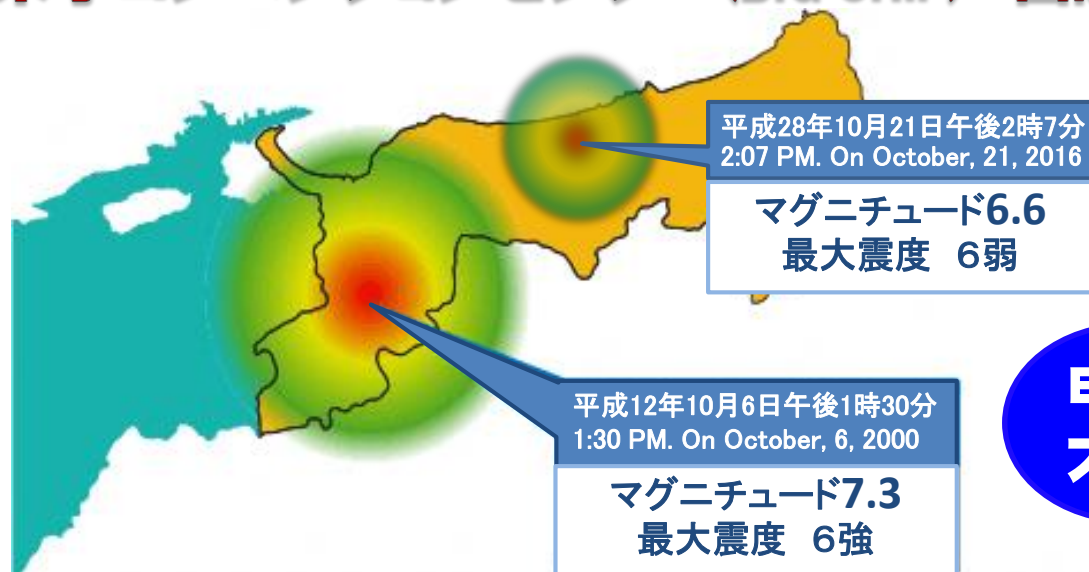


## -0.1満点観測で見えるもの-

最前線で活躍する研究者が、山陰地方における『大地震』、『ひずみ集中帯』、『鳥取県中部地震』などについてわかりやすく説明します。また、鳥取県西部地震の震源を対象に行っていた「0.1満点地震観測」の研究結果についても報告します。

**平成30年10月14日(日) 14:00~16:30**  
(受付 13:30~)

**米子コンベンションセンター (BIG SHIP) 国際会議室**



**入場  
無料**

**申込  
不要**

### 講演内容

- 『0.1満点地震観測で見えてきた地殻の活動』 松本 聡 先生 (九州大学)
- 『地震観測と地質調査をつなぐ新しい架け橋』 加藤 愛太郎 先生 (東京大学)
- 『地質調査から見えてきた山陰地方に発達する断層の特徴』 向吉 秀樹先生 (島根大学)
- 『山陰地域で近年発生した地震の地震動特性』 香川 敬生 先生 (鳥取大学)
- 『鳥取県中部地震と西部地震』 飯尾 能久 先生 (京都大学)

【主催】 地殻ダイナミクス研究グループ 【共催】 鳥取県

【後援】 米子市、境港市、日吉津村、大山町、南部町、伯耆町、日南町、日野町、江府町、とっとり防災危機管理研究会、鳥取大学工学部附属地域安全工学センター、京都大学防災研究所地震予知研究センター、島根大学自然災害軽減教育研究センター

【お問合せ先】鳥取県危機管理政策課 電話:0857-26-7894 メール:kikikanri-seisaku@pref.tottori.lg.jp

# 【アクセス】

米子コンベンションセンター BiG SHIP  
〒683-0043 鳥取県米子市末広町294  
TEL 0859-35-8111 FAX 0859-39-0700

●JR米子駅から徒歩5分

●駐車場のご案内

※ビッグシップ前駐車場（米子駅前簡易駐車場）に駐車し、米子コンベンションセンターの催事に参加された方は、駐車券をご持参いただき、会場内設置の割引認証機にお通しください。

※駐車場P1～P5は、米子コンベンションセンターの近隣の有料駐車場です。  
（こちらの駐車場では利用割引は適用されません。）



# 【講演会の趣旨】

2016年鳥取県中部地震が発生して約2年、2000年鳥取県西部地震が発生して約18年、これらの地震以外にも日本列島では数多くの地震が発生しています。未曾有の被害をもたらした2011年東日本大震災や2016年熊本地震などの発生以降、日本列島の地震・火山活動が今後どうなるかを予測することが重要な課題となっています。しかし、地震発生の仕組みが良くわかっておらず、非常に大きな困難に直面しています。

そこで、鳥取県西部地震の余震域において、これまで世界的にも例のない先端的な地震観測を計画・実施し、地震発生の仕組みを明らかにしようとしています。昨年度、地域の方々の暖かいご支援・ご協力を頂き、1000点の観測点をおよそ1kmおきに設置し、1年間連続でデータを取り続けることが出来ました。山陰地方の地震帯においては、「満点計画」の一環として2009年度から稠密地震観測が行われてきましたが、その成果も踏まえて、内陸地震や内陸の変動に関して、これまで未解決だった謎を明らかにすることが本計画の目指すところです。

本講演会は、山陰地方の地震帯における地震活動や地震防災への理解を深めるとともに、鳥取県西部地域における研究結果について分かりやすく解説することを目的としています。これまで、地域の方々を初めとする関係の方々の暖かいご支援・ご協力を頂いていますが、今後とも一層のご鞭撻を切望しております。

なお、本計画は、文部科学省 科学研究費補助金 新学術領域研究（平成26～30年度 領域番号 2608）「地殻ダイナミクス — 東北沖地震後の内陸変動の統一的理解—」（代表：飯尾能久・京都大学）によりサポートされています。

# 【主催：地殻ダイナミクス研究グループ】

この研究グループは鳥取大、島根大、京都大、東京大、北大、東北大、新潟大、大阪大、名古屋大、九州大ほかの地震および地質学研究者によって構成されています。

## 【事務局】

松本 聡 (九州大学大学院理学研究院 地震火山観測研究センター)

〒855-0843 島原市新山2-5643-29

tel: 0957-62-6621 fax: 0957-63-0225

飯尾 能久 (京都大学・防災研究所地震予知研究センター)

〒611-0011 宇治市五ヶ庄

tel (dial in): 0774-38-4200 fax: 0774-38-4239



地殻ダイナミクス